

【キャンプボランティア（回答：キャンプボランティア担当 谷川様）】

○活動の目的

キャンプなどの野外活動を通して青少年の心身の育成とリーダーシップ養成を行っています。ボランティアリーダーは子どもたちと一緒に生活をし、プログラムを体験します。子どもたちの興味関心を引き出したり、グループ活動を援助したり、子どもたちの成長に貢献します。

ボランティアは子どもたちにとって普段関わることのないお兄さんお姉さんのような存在です。様々な背景をもつリーダーと関わることは、子どもたちがありのままにいて良いと感じる機会にもなります。一緒に全力で楽しんでいる姿を見たり、話を聞いてくれたり、かっこいいリーダーの姿が、子どもたちのロールモデルにもなります。

○どんな人が参加している

子どもが好き、自然が好き、教育や福祉に関心がある、将来のキャリアのため、など様々な理由で参加されています。きっかけはそれぞれですが、キャンプに魅了されて社会人になった今でも関わってくれている人もいます。

○活動に必要な資格は

野外での活動なので体力は要りますが、特別な資格は必要ありません。水泳やアーチェリー、調理補助など自分の専門分野を生かした関わり方もあります。初めてでも安心して参加してもらえるよう安全に関すること、子どもとの関わり方など事前に様々なトレーニングを行っています。

○活動に参加する上で注意すべきことは何か

子どもたちが楽しく充実した活動を行うため、ボランティアは大切な役割を担っています。安全管理はもちろん、子どもだけでなくボランティア自身を守るために、ハラスメント、プライバシーなどに関する意識を、一人ひとりの個性を大切に活動して欲しいです。

○活動を行ううえでの課題

学生は長期休みでさえも学業、部活動、アルバイトなど多忙な生活を送っているため、以前に比べてボランティアに参加することが難しくなっているように感じています。

日帰りの活動も行っていますし、オンラインで説明会を行っていますので、活動に関心のある方はぜひ一度お問合せください。

○コロナ禍で変化はあったか

2020年度は対面でのプログラムをすべて中止としましたが、Zoomを使ったバーチャルキャンプや12月にはクリスマス飾りを作るプログラムなどを実施しました。バーチャルキャンプでは、ジェスチャーゲームや絵しりとりなどのレクリエーションゲーム、キャンプソングを歌うなどキャンプの雰囲気を楽しみました。

○今後のプランは

来年度は日帰りの活動を増やすなど徐々に対面での活動を再開していく予定です。来年度はキャンプ90周年を迎えます。90年続く伝統を守りながら、これからのニーズに合わせてキャンプを展開していく予定です。

【水泳ボランティア（回答：水泳ボランティア担当 山内様）】

（１）肢体不自由児・者のための水泳「あひるの会」について

○活動の目的は

肢体不自由者が水泳を通して喜びと自信を得られるようレクリエーション活動として行っています。

○どんな方が参加している

メンバーは肢体不自由の小学3年から60代まで、ボランティアは主に主婦層です。

○活動に必要な資格

18歳～50歳の女性で、泳力 200m以上深いところ（水深3.7m）でも泳ぐことのできる方。

○やりがいは

運動の機会が得にくい障がい者の方が、プールで楽しそうにしているのを見るとうれしい。

○活動から得られることは

参加者の笑顔や水泳が上達していく過程の中で、喜びを分かち合うと同時に社会貢献ができる所です。

○活動に参加する上で注意すべきこと

安全に配慮し、参加者それぞれにあったサポートを心掛けることです。

○活動を行ううえでの課題は

参加者の方を安全に介助するためシャワーや入退水で人手が必要になるが、ボランティアの数が少ないのでちょっと大変。

○コロナ禍で変化はあったか

介助で密接になるのでボランティアはプールマスク着用で対応しています。

また、実施回数が減りました。これまで外出の機会が制限される方には、自粛によってさらに外出、運動の機会が奪われたため、参加者から体力が落ちるとの声をいただきました。

○今後の予定は

5月より木曜日は年38回、土曜は年20回実施の予定です。

(2) 発達に遅れや偏りのある女兒のための親子水泳「かめさんくらぶ」について

○活動の目的

プールでの集団指導が難しい女兒のために、小グループで指導を行っています。
親子のふれあいを大切に一人ひとりに合わせた水泳指導を行うのが特長です。

○どんな方が参加している

発達に遅れや偏りのある満5歳～小学6年生までの女の子とその母親です。
ボランティアは大学生の方です。

○活動に必要な資格は

必要な資格はありませんが、水泳が好き、子どもが好きで活動に理解がある人を求めています。

○活動に参加する上で注意すべきことは

子どもたちは新しい環境や人に慣れるまで時間がかかるので、ボランティアは継続的な参加を望みます。
一人ひとりの様子をよく観察する、楽しい雰囲気をつくることも重要だと思っています。

○活動から得られることは

段階を踏みながら、それぞれの子どもにあった水泳体験ができることです。
母親にもその過程を一緒に楽しんでもらえる。

○活動を行ううえで課題は何か

(先日、「かめさんくらぶ」に3年かかわったボランティアの方が今年3月で卒業したので) 子どもたちからお姉さんと慕われるようなボランティアさんの参加を期待しています。